

医師×企業 医局ピッチ

無料



信州大学では、医師と企業とを繋ぐことで製品開発・改良に役立てていただくため、医師と企業との「医局ピッチ」を開催します。新型コロナウイルスの影響を踏まえ、アフターコロナ・ウィズコロナ対策に係る案件も対象とします。

取組内容

具体的な支援

①ピッチに向けたブリーフィング

信州大学学術研究・産学官連携推進機構の医工連携コーディネータが、企業の提案する製品や技術などをヒアリング。医師への相談事項を企業とともに、抽出・整理！

②信州大学 医局医師へのピッチ

医局医師へのピッチを通して、製品・技術開発にとって有益な情報や興味を医師から引き出し、意見交換！

③ピッチ後のフォローアップ

医局医師へのピッチの結果を踏まえ、医工連携コーディネータとともに、方向性を検討！

対象者

中小企業基本法における中小企業、かつ医療分野の製品化を目指す製造販売業等で機器、アプリ・システム開発を行う企業（医療機器、ヘルステック、在宅医療など）
※部品やソフトウェアの一部のみのものは対象になりません

対象となる開発案件

- ・自社に技術や試作機等があるもの
- ・目的や開発における課題が明確であるもの
- ・臨床試験・検証実験の実施を見据えているもの

日程・会場

日程 信州大学 医局医師へのピッチ

2021年10月～12月頃

※日程・開催時間は、医局医師等との調整により確定いたします。

※1社につき60分程度を予定

※開催前後に、順次①ピッチに向けたブリーフィング、③ピッチ後のフォローアップを実施いたします。

会場 信州大学 松本キャンパス
信州地域技術メディカル展開センター
(長野県松本市旭3丁目1番1号)



▶ お申込み・お問合せは裏面へ

こんな企業のお悩みにお応えします！

- ・開発を開始したが、他の医師の目から見てこの製品ってどうなんだろう・・・
- ・既存の製品があるが、よりよい製品改良に向けて、様々な医師からアドバイスをもらいたい・・・
- ・治験や実証を見据えて開発しているけれど、協力・相談にのってくれる臨床機関はないだろうか・・・

医局ピッチの流れ

申込書の提出

①ブリーフィング

②医局医師
ピッチ会

③フォロー
アップ

採択された企業に対し、9月上旬頃を目途にピッチ会に向けた準備等に関する詳細をご連絡いたします。

- ① 信州大学学術研究・産学官連携推進機構の医工連携コーディネータが、ピッチに向けたブリーフィングを実施（ピッチ開催の1ヶ月前～で、1回程度）。
- ② ピッチ会は、1社あたり60分程度（意見交換・質疑応答込み）、医局医師に対してプレゼンテーションを実施。
- ③ 後日、進捗状況や今後の方向性を確認。

お申し込み方法

下記URLより申込書をダウンロード（QRコードから読み取り）いただき、メールにて、ご提出ください。

○URL：<http://www.shinshu-u.ac.jp/project/amed-smed/news/2021/08/post-6.php>

申込
締切

8/31 (火)
17:00



【メール送付内容】

○宛先：smia@shinshu-u.ac.jp

○件名：（申込み）医局ピッチ

○添付：上記URLよりダウンロードいただいた申込書をご記入の上、添付してください。

○本文：①ご所属（組織名・役職）、②氏名（ふりがな）、③連絡先（メールアドレス、電話番号）

※予定数を超える応募があった場合、事務局にて審査を行い、参加企業様を確定させていただきますこと、ご了承ください。

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構の医工連携支援機能

医療機器産業の振興を図るため、以下を大学内に設置して運用中

- 産・学・官の103機関で構成する「信州メディカル産業振興会」
- 60種類以上の医学的分析機器を企業へ使用開放した「信州メディカルシーズ育成拠点」
- 医療従事者と企業技術者が医療機器を共同開発する「信州地域技術メディカル展開センター」

これらの設置に加え、「医工連携コーディネータ」がニーズ発掘からマッチング、市場開拓までを一貫支援！

医療現場見学会や医療機器開発研修等との支援の組み合わせにより、これまでに数多くの製品化事例を創出！

医局ピッチにおいても、「医工連携コーディネータ」と、各種支援体制を組み合わせ、企業の技術を医療現場に届けます。

主催

信州大学学術研究・産学官連携推進機構

問合せ

〒390-8621長野県松本市旭3丁目1番1号 信州地域技術メディカル展開センター1F

E-mail：smia@shinshu-u.ac.jp

TEL：0263-37-3421